

## 第1回歴史文化基本構想策定委員会 議事録

開催日時：平成29年9月6日（水）13時30分～

開催場所：徳島市役所 801会議室

出席委員：高橋啓（委員長）、須藤茂樹（副委員長）

有内則子、市村治、茨木靖、黒田忠良、坂口敏司、菅原康夫、高橋晋一

長谷川晋理、藤本宗子、鈴田善美、浦聡明（代理・川淵崇之）、藤井速資

事務局：西名武、建島美穂、勝浦康守、三宅良明、宮城一木、西本沙織

### 委員長

徳島市がこれから着手しようとしている歴史文化基本構想のあらましについて説明があった。私自身もまだ十分に内容を把握できていないが、最初にフリートークということで今の事務局の説明にご意見やご質問があればお願いします。

### 委員

何をもちいて歴史文化遺産と定義づけるのが難しいのではないかと。佐古地区からいろいろと出てきているが、境内の中にある何々は神社の中にも含めるのか、たとえば諏訪神社にある大谷の石灯籠は個別に文化遺産として見るのか、諏訪神社としての位置づけになるのか。また、目に見えないようなもの、古写真などはどのように扱うのか。

### 委員長

関連性のあるものはすべて包みこんでいくということではないか。これまでの文化財保護法のなかでいうところの文化財は、個体・点としての文化財としての捉え方であって、その側面で文化財的な価値を評価し、国・県・市などの指定をし、保護活用を進めてきた。今回の歴史文化基本構想でいうところの文化財は、それをさらに広げて、点や物としての文化財ではなく、面や一つの場としての文化財を重要視していこうという姿勢がはっきりしている。文化財そのものではなく、文化財がそこに存在している自然・周辺環境をセットにしてとらえていくということでは。さきほどの神社あるいは記録に関しても、セットとして捉えていける。1個のサツマイモに注目して鳴門金時というブランド価値を捉えていたのが、掘り出したサツマイモ群をそれにくっついてきた小さいイモや塵もひとまとめにして、それを一つの文化財群として、場として捉えていくということに眼目があるのではないかと思います。

### 委員

我々が価値があると判断したものは文化財ということで良いのでは。長崎市の策定した構想を見ると、埋蔵文化財包蔵地や和風建築の町屋というような大きなくりのものもある。ある程度早めに考えておいたほうが良いとは思いますが、それに引きずられるのではなく、徳島のストー

リーを考えながらあるものは個別、あるものは全体、あるものはさらに大きくというような考え方が出てくるのではないか。これまでだと、何年たっているとか、いつできたとか細かいことがあってさらにその接点を詳しく調べてから文化財に指定されていた。もちろん、今回出てきたものから文化財に指定してもいいとは思いますが、まずは基礎的ないろんなものを挙げていくのが大切。難しいのはこれからで、いろんな地区から出てきたものをどういう風にくくっていくのか。全部をとりあげるわけにはいかないと思うので、何らかのストーリーにまとめたら、地元から出てきたものであっても外さないといけないものもあるだろう。今はいろんなものを出していくのが大事だが、ゆくゆくは徳島の特徴的なものは一体何なのかということと、それにモノを引き付けていく作業になっていくのかなと思う。事務局は教育委員会がしているが、策定委員会にはいろんな課の人が出席している。最終的には課をまたいでやっていくこともあるかもしれないが、たとえば国の補助金の問題や、全体としてやっていくところのわかりやすいイメージがあれば教えてほしい。

#### 委員

歴史文化基本構想が策定され承認されたら今後どんな補助金のメニューが使えるのか。今は個別のデータが出ているだけで雲をつかむような議論になっているので、徳島市が考えている策定された後の絵みたいなものがあればわかりやすい。

#### 事務局

現在、全国で50近くの市町村がすでに歴史文化基本構想を策定しており、構想策定については国の定額補助制度がある。これまでは策定した市町村に対する補助金は用意されていなかったが、今年度からは活用事業に対して補助金ができた。策定後はこれらの補助金を使った活用事業の実施を考えているほか、これまで個別に行ってきた系の事業も構想の視点にあわせて見直していきたい。

#### 委員

資料にある関連文化財群のイメージ図がわかりやすいのでこれを使って説明してはどうか。魅力的なストーリーというので、城下町や徳島城跡、大名墓所など江戸期の徳島に関するものがジャンルでまとめられている。ここに一宮城跡も入れてくれたらよりいいのだが…。このように点在しているものからテーマをつくっていくようなワークショップを地域で行っていきなかで、歴史文化の保存や活用に貢献しようという気持ちをもっていただけるようにすれば良いのではないか。

#### 事務局

これはまだ単なるイメージで、関連文化財群についても他にもいろいろな案が考えられると思う。ワークショップの実施を通じて、文化財の保存活用に関わってくれる人材発掘を行うことも本事業の目的と考えている。

委員

策定の年はオリンピックの年、エンブレムが藍色ということで県も藍染に力を入れている。たくさんのストーリーをこしらえるのも良いが、雲をつかむような話にならないように、藍染や浄瑠璃など太い柱のようなストーリーを2, 3本こしらえるのが大事。

事務局

ストーリーの数は決められているわけではないので、会議のなかで検討していきたい。大きなテーマをいくつかに分けるのかどうかについても議論していけたらと思っている。

委員

まだ生のデータで整理できていないと思うが、国・県・市指定の文化財があつてそれ以外のものを徳島市ではどう考えていくのか。今回の調査であがつてきた有象無象の中から将来的に登録文化財になるようなものが出てくるのか、指定文化財以外のものをどうするかもしっかり考えてほしい。地域で残していくためには担保のようなものが必要だと思う。これをどのように考えているのか。すでにご存じの方もいるかもしれないが、近々、文化財保護法の改正が予定されていて、文化財を地域振興に活かすために、地方自治体に現状変更などの権限委任がされるようになるようだ。そのベースになるのが、この歴史文化基本構想の次の段階の保存活用計画らしい。これは史跡における活用事業にも大きく関わっていて、大阪城跡ではモトクロス大会などが実施されたというが、今後徳島城跡を活用してコンサートなどができたりするかもしれない。

事務局

指定文化財以外をどうするかについて、例えば太宰府市では「市民遺産」を一般募集している。ただ、徳島市では文化振興課が「とくしま市民遺産」というのをすでにやっている。各地区の文化財保勝会の守っていく文化財リストに追加するというのも一案かと思う。また、今後指定文化財の候補としても活用できると思うが、せっかく悉皆的に調査した文化遺産のリストを活かせるように登録文化財や市民遺産のようなものなど、いろいろな形を検討していきたい。

委員

そのためには、条例か何かの形にしていかなければならない。地元でビューポイントを残そうとして、法的な担保もないのにできないという声もあった。保存活用をするのであれば、他部署とも連携が必要。

委員

地域から出てきた文化財のリストをぜひ全部見たい。川内町では荒神社で獅子舞をしており、後世に残していきたいが地域に子どもがいなくて困っているという。ラジオ体操の時に勧誘するなど、苦労しているようだ。小さなことから掘り起していくというのは大事なことで、そこから大きなところに持っていってもらったらと思う。

#### 事務局

保勝会によっては提出された文化財の数が極めて少なかったり、地域によっては保勝会がなかったりする地区もある。このような偏りを今後事務局の方で補い、次回には資料として配布したい。

#### 委員長

リストについては各地区でかなり地域差が出てくると思うが、それを踏まえたうえで関連文化財群の設定からストーリーをつくる作業をしていくということが良いか。どういう要素に注目してつくっていくのかということが重要になってきそう。そのあたりに関連して意見があれば。また、次回までに指定文化財等参考資料のリストを作っておいてほしい。

#### 委員

次回ではなく次回の委員会までに送っていただければ予習ができる。

#### 事務局

次回委員会までに参考資料として送らせていただきたい。

#### 委員

今後無形など、いろんなジャンルのもが出てくるということだが、「埋蔵文化財包蔵地」などはどういう扱いになるのか。法的にはそれなりの扱いがあるが、それは開発行為に対してのもの。県のいにしえ夢街道では埋蔵文化財包蔵地でも銅鐸の出た矢野遺跡など、重要なところには看板を建ててはどうかという話が出た。

#### 事務局

長崎市のように「埋蔵文化財」という大きなジャンルを関連文化財群に入れている事例もあったが、関連文化財群やストーリーの内容に応じて重要遺跡をピックアップすることも考えている。関連文化財群をまとめていくなかで埋蔵文化財包蔵地をどのように扱っていくか検討していきたい。

#### 委員

民俗の立場から見ると、佐古を見てもやはり抜けているものがある。地元の方にはどういうふうにしてこの情報を出してもらったのか。

#### 事務局

例えば民話・食べ物・祭礼など、いろいろなジャンルに○をつけてもらう方式のシートで回収した。しかし、書いた人によってかなりの差が出てしまう。佐古でもチャラリコなどのような重要なものが漏れており、この整理にはかなり時間がかかりそう。最終的には漏れないかど

うか、重要なものに入っていないというのがないように各分野の先生方に相談させていただくようになると思う。

委員

2月と3月に予定しているワークショップに関しては、何の資料もない状態で地域を歩いて意見を出し合うのか。

事務局

事前情報が何もないのに、はい歩いて見つけてきてくださいというのではさすがに難しいように思う。ある程度見どころを市のほうで考えて、コース設定をする予定。加茂名はこれまで文化財マップなどはあまり作られていなかった地域だが、過去に地元で作られた郷土誌などがあるので、これらを参考にしたうえで、それぞれの見どころを歩く予定。国府については資料館が会場であるうえに、すでに歴史マップ等もあるので、これに加えて何か面白いものがないかを参加者と歩きながら探したいと考えている。午前中にまちあるきをして、見つけたものを出していく作業（ワークショップ）の時間を午後に設けたい。

委員

大学でも美馬市のほうでもワークショップをやったが、地元の人が魅力的だと思っているものと実際学生が見つけたものとは必ずしも同じではない。地元の人暮らしの中で何気なく使っている道具などは歩くだけでは見つけづらい。まちあるきでは目に見えるものしか出てこないかもしれないので、地元の人にヒアリングすることも重要。

事務局

ワークショップでは、地元の人にも入ってもらって目で見ただけではわかりにくいものも発見できたらと思っている。

委員

文化財保勝会からは自然系遺産のデータは集まってきにくいのではないだろうか。各文化財の歴史的なものをつなぎあわせるノリのような役割を自然系が果たせるのではないかと思う。今後自然系のヒアリングの予定はあるのか。

事務局

照会をかけると、樹木や石切り場などは出てきても、生き物などはほとんど出てこない。回答シートに自然という選択肢は入れているのだが。何か良い案があったらご教示いただけたら。

委員長

洪水遺産などを関連文化財群として組み立てるのなら自然系は大事ではないか。

委 員

自然系はいろいろな研究会があるので、今の段階でヒアリングをかけても良いと思う。

委 員

四国大学が出版された『大学的徳島ガイド』のなかに食というジャンルがあり、ラーメンや寿司などが紹介されていた。あのような郷土料理というのも今回のストーリーに入れば良いのかなど。

事務局

地区への照会では、食の分野は出てきにくいかもしれない。市内で特徴的なものは補足しながら入れていきたい。

委 員

『大学的徳島ガイド』も各職員が徳島らしいものをピックアップしながら作成したのだが、実は人形浄瑠璃が抜けている。この構想ではそういうことがあってはならないので、徳島市の歴史文化に抜けてはいけないものや特徴的なものは何かを考えながら、グルーピングしていく必要がある。市内には遍路寺院もあるし、遍路というジャンルも良いのではないか。例えば、城下にある持明院も遍路が一番通るところである。また、徳島は板碑や高地蔵など石造文化財も特徴的で、ストーリーが作れるかもしれない。また、自然といえば、吉野川はどこでもやっているが、徳島市以外にないのが「吉野川の河口」。洪水遺産、シオマネキ、最近ではヨットやサーフィンなど、これも一つストーリーが作れるのでは。あまりかつちりした案がはじめからあると委員の意見も流されてしまうかもしれないので、せめて事務局のラフスケッチ的なものは欲しい。

委員長

今回はまだ第1回目ということで具体的な資料が揃わず抽象的な話になってしまったが、次回からは具体的なストーリーが描き出せそうなので、我々の力量が試されるころだ。具体的な検討作業は次回からということになると思うので、さきほど意見もあったが、第二回目までに事前に資料を送っていただけたら検討する時間ができる。

委 員

次回には事務局で何案か骨になる部分を提示していただけたら。

事務局

次回スムーズに関連文化財群やストーリーの検討に入れるように準備したい。

以 上